

十四小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第18号 令和2年12月7日



人権週間

12月4日から10日は人権週間です。その期間は、自由・正義・平和の基礎である基本的人権が守られるようにしようという考えを、世界中の人に広めるために決められました。本校では7日(月)に人権集会を開き、人権についての意識を高めました。事前に子どもたちは人権について学習し、自分の思いを標語や作文に表しました。

集会当日は代表児童の作品の発表を行いました。発表作品を紹介します。

集会当日は代表児童の作品の発表を行いました。発表作品を紹介します。

【標語】

- 1年 やさしいところがだいじだね みんなでいっしょにあそぼうね
一人一人 みんなのきもちを たいせつにしよう
- 2年 みんななかよくなるせかい いじめはぜったいやめようね
けがしてる かわいそうだね たすけてあげる
- 3年 ありがとう そのひとことを つたえよう
けんかして 言えるといいな ごめんねと
- 4年 いけないよ みているきみに とめてほしい
おもいやりの パスをみんなに つなげてこう
- 5年 わるぐちは ゆうじょうをけす ことばだよ
きづいてよ この子のころは ないてるよ
- 6年 たいせつな みんなのいのち まもろうよ
「だいじょうぶ」 えがおにかくれた SOS



【作文】

本年度は、コロナウイルスのため制限されたことが多いですが、感染対策をしながら異学年交流を充実し、生活に潤いをもたせるよう図ってきました。子どもたちの作文のほとんどが、そのことに触れていました。また道徳で学習した差別について感想を書いていました。発表者を紹介します。

- 1年…「やさしい6年生」 「6年生といっぱいあそんだよ」
- 2年…「楽しかったやさしいコマーシャル」 「楽しかったよ2020おもちゃ大会」
- 3年…「ダンスパフォーマンスの練習」 「4年生と練習したスポーツフェスティバル」
- 4年…「勝ち負けよりも楽しく」 「話し合うこと伝え合うことの大切さ」
- 5年…「人種差別をなくすために」 「黒人差別について」
- 6年…「異学年交流で心に残ったこと」 「深まったよ他学年との交流で」

【校長講話より】

みんなが人権を守り、安心して暮らせるための先生からの提案です。キーワードは「朝飯前」。朝飯前というのは、「朝食をとる前の少しの時間にでもできるような、簡単なこと」という意味です。江戸時代の人には「朝飯前」に何かしていたそうです。何をしていたのでしょうか？ 実は江戸では、朝起きたら、近所の家や、一人暮らしのお年寄りなど困ったことが起きていないか、様子を見に行ったり、声をかけたり、できることをしたそうです。そして、朝ごはんが過ぎたら、自分や自分の家族のために働いたのだそうです。つまり、朝ごはん前は、家族以外の人、朝ごはん後は自分や家族のために時間を分けて使ったそうです。こうして過ごせば、自分も気持ちよく1日を過ごせ、他の人も気持ちよく過ごせました。この朝飯前は、「江戸しぐさ」という江戸のマナーの中の一つでした。

みなさんも、自分のために使う時間、他の人のために使う時間、二つの時間を持つようにしてみてもいいですか？ そうすることで自分も周りの人も大切にできます。朝飯前にできること、簡単にできることから始めてみましょう。